

第10回

秩父鉄道写真コンテスト



SL部門・推薦(秩父鉄道社長賞)
「力走 ファーストラン」 徳田 稔様



SL部門・特選(社)秩父観光協会会長賞 「みどりのフォトフレーム」 中村 伸志様

作品集 募集

応募期間

2013

4/1
月

入選作品の中から
来年のカレンダー
を作成致します。

8/4
日 必着



観光部門・推薦(秩父鉄道社長賞) 「早春の宝登山」 佐野 直様



観光部門・特選(社)長瀨町観光協会会長賞「ナイトステージ」 江本 直尚様

※第9回秩父鉄道写真コンテスト 受賞作品

1 応募作品のテーマ ※平成21年以降に撮影された未発表の作品

観光部門

秩父鉄道沿線の自然・風景・祭事等を題材にした作品

SL部門

SLバレオエクスプレスが走る風景の写真や
SLバレオエクスプレスの魅力が伝わる作品

第10回記念 車両部門

特に平成25年度に引退予定の1000系車両を中心に
秩父鉄道(電車・電気機関車)が走る風景の写真や
秩父鉄道の魅力が伝わる作品

賞 観光部門 SL部門 第10回記念 車両部門 記念品等

推薦

1名

秩父鉄道社長賞

1名

秩父鉄道社長賞

1名

秩父鉄道社長賞

特選

1名

(社)長瀨町観光
協会会長賞

1名

(社)秩父観光
協会会長賞

入選

20名

秩父鉄道賞

20名

秩父鉄道賞

10名

秩父鉄道賞

賞状・トロフィー
賞金(30,000円)・副賞(15,000円相当)
記念品 秩父路遊々フリーきっぷ
秩父鉄道のオリジナルグッズ

賞状・トロフィー
賞金(20,000円)・副賞(10,000円相当)
記念品 秩父路遊々フリーきっぷ
秩父鉄道のオリジナルグッズ

賞状・贈 副賞(5,000円相当)
記念品 秩父路遊々フリーきっぷ
秩父鉄道のオリジナルグッズ

秩父鉄道企画部内「写真コンテスト」係 048-523-3313 平日9:00~17:00



ホームページから応募用紙がダウンロードできます。 <http://www.chichibu-railway.co.jp/>

秩父鉄道

検索

応募期間

2013年4月1日 ▶ 8月4日 必着

2 応募方法&応募先

使用機材は、フィルムカメラ・デジタルカメラのどちらでもご応募いただけます。

フィルムカメラ（カラーネガ・カラーポジ）は35mm以上、デジタルカメラは1000万画素以上の高画質で撮影したものを推奨します。

- ①デジタル作品は、JPEG最高画質またはRAWで撮影されたもので、大判サイズのポスターやカレンダー等の使用に耐えるものとします。
- ②レンズ交換できないデジタルカメラで撮影される場合、撮影モード（記録画素数）は、最高画質（4608×3456ピクセル）を推奨します。

※RAW…出力時の画像処理の際、自由度が高く、高画質が保てるファイル形式です。カメラの設定により「JPEG」と同時に記録することができます。メーカーでファイル名の拡張子が異なり「.CR2.NEF.ARW.RAW」などがあります。

四ツ切またはワイド四ツ切のカラープリントの裏面に応募用紙を貼付のうえ、下記応募先へお送りください。

- ①応募作品は「郵送」または「宅配便」をご利用ください。秩父鉄道駅窓口、写真コンテスト係へ直接お持ちいただいても受付はいたしません。
- ②デジタルの場合、インクジェットプリンタ等での出力でも結構です。ただし、出力サイズはA4サイズ（210×297mm）またはB4（257×364mm）で出力してください。
- ③封筒表面に「観光部門」「SL部門」「第10回記念 車両部門」応募部門をご明記ください。なお、複数の部門にご応募される場合は、封筒を分けてご送付ください。

〒360-0033
埼玉県熊谷市曙町1丁目1番地
秩父鉄道「写真コンテスト」係

3 応募上の注意

ご入賞された場合、作品の原版（オリジナル）を提出していただけます。ご同意の上、ご応募ください。

- ①平成21年以降に撮影された未発表の作品に限ります。なお、立ち入り禁止区域内で撮影されたと思われる作品は選考外といたします。
- ②応募点数は、各部門おひとりさま10点以内までとさせていただきます。
- ③未発表作品であって、他に発表予定のないもの、なお単写真に限ります。
- ④データでの応募はできません。
- ⑤顔装・パネル貼りおよび台紙貼り作品は失格となります。
- ⑥応募者本人が撮影したものに限り、応募用紙には必ず本人の名前を記入してください。他人の名前を使用した場合は、失格となります。
- ⑦題材に適していないもの、規定外のサイズ、合成写真、デジタル加工をした写真は失格となります。
- ⑧同一オリジナルフィルムやデジタルデータから観光部門、SL部門、車両部門の重複応募はできません。
- ⑨被写体に人物が含まれている場合は、事前にその方の承諾を得るなど、肖像権の侵害等生じないように応募者本人の責任においてご確認ください。
- ⑩応募作品に関して、著作権侵害や肖像権侵害など法律上の問題が発生した場合は、応募者にて対処願います。

4 審査・入賞発表について ▶▶ 平成25年9月予定

主催者及び主催者が選定する審査員が行います。

- ①発表は入賞者への通知をもってかえさせていただきます。
- ②審査の結果については、意義の申し立てを受けません。

入賞作品展示会を開催予定（2013年秋頃）

※詳細は、決定次第、秩父鉄道ニュース・ホームページ等でお知らせします。

5 応募作品の返却について ▶▶ 平成25年10月下旬予定

- ①応募写真の返却を希望される場合、返信用封筒に郵便番号・住所・氏名を記入、相当額の切手を貼付のうえ、応募作品と一緒にお送りください。
- ②返却希望のない応募作品ならびに、返却希望があっても返信用封筒の同封がない作品は、平成25年10月末日をもって処分させていただきます。
- ③応募作品の取扱いには十分注意いたしますが、万一の事故に対する責任は負いかねますので、ご了承ください。

6 入賞作品の取り扱いについて

フィルム ネガまたはポジの原版（オリジナル）をご提出いただけます。
※ネガ・ポジの複製（コピー、デュープ）を提出された場合は、入賞を取り消させていただきます。

デジタル 作品データ（RAW推奨）をご提出いただけます。

- ①ネガまたはポジの原版・作品データの提出をもって入賞と確定し、提出された時点で著作権は秩父鉄道に帰属します。指定期日までに作品データの提出、または連絡がない場合は、入賞を取り消させていただきます。
- ②ネガまたはポジの原版はデュープ後、返却いたします。（返却予定…平成26年3月下旬頃）
- ③応募時のプリント作品は返却いたしませんので、ご了承ください。
- ④入賞決定後でも、二重応募または類似作品とみなされるものは入賞を取り消し、記念品等を返却していただけます。
- ⑤入賞作品は、ポスター・パンフレット・チラシ・カレンダー・ホームページなど、秩父鉄道およびSLパレオエクスプレスPR用として使用いたします。なお、WEB掲載や紙面等に使用する際に、スペースの関係上、主催者側でトリミングする場合があります。
- ⑥提出後の入賞作品の使用は原則として認めません。入賞作品を使用の場合は、必ず秩父鉄道写真コンテスト係へご相談ください。

7 応募用紙記入ならびに貼付時の注意事項

- ①楷書でハッキリとご記入ください。（ボールペンをお使いください）
- ②「受付番号」以外は全てご記入ください。
- ③応募用紙の内容に記入漏れがあると入賞の対象外となります。
- ④応募用紙は、作品の裏側に天地をあわせ、セロテープにて四辺をしっかりと貼付してください。（ノリ付けはしないでください）
- ⑤応募用紙にご記入いただいた個人情報、適正に管理し、下記以外の目的で使用・提供することはありません。

- 応募者への問い合わせならびに秩父鉄道写真コンテスト関連の資料送付、記念品の送付に使用します。
- 入賞者の方については、入賞作品を発表する際に氏名を掲載します。
- 入賞作品を主催者が作成するパンフレットやポスター、ホームページ、秩父鉄道ニュース等に掲載時に、入賞者の氏名を掲載する場合があります。

応募多数の場合はコピーしてお使いください。

第10回 秩父鉄道写真コンテスト応募用紙

※受付番号No.

ご応募部門のいずれかを ○で囲んでください。 観光部門 ・ SL部門 ・ 第10回記念車両部門
フィルム ・ デジタル

| | | | |
|------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|-------|---|
| フリガナ 題 名 | | | |
| 撮 影 日 | 平成 | 年 | 月 |
| 撮 影 場 所 | | | |
| カメラ名 | メーカー（機種名） | | |
| 保存様式 | ※該当を○で囲んでください。 デジタル（RAW・JPEG・TIFF） フィルム（ポジ・ネガ） | | |
| 住 所 | （〒 - ） | | |
| フリガナ 氏 名 | 性別 | 男 ・ 女 | |
| 電 話 | 年齢 | 才 | |
| 作品返却 1.希望する 2.希望しない ※返却をご希望される方は「5.応募作品の返却について」をご覧ください。 | | | |

撮影時の路上駐車や、立入禁止区域への立ち入り、田畑や私有地への立ち入り、三脚禁止区域での使用、タバコやゴミの投げ捨て等はおやめください。

- 電車や電気機関車、SL列車にむけてフラッシュを使用しないでください。
- 線路脇で撮影される場合は、大変危険ですので、近づきすぎに十分注意してください。
- 車両運用などのお問い合わせには回答いたしません。
- SL列車は、機関車に負担のかかる「煙を吐いての走行」等の依頼には応じかねます。